

2019年6月4日
東京製鐵株式会社

UNEP フォーラム 2019にて東京製鐵の環境への取り組みについて発表

2019年5月21日に『UNEP フォーラム 2019』が東京・渋谷の国連大学（UNU）ウ・タント国際会議場にて開催されました。今年で4回目となるフォーラムのテーマは、「イノベーティブ・ソリューション」で、当社は「循環型・低炭素社会の実現に向けての電気炉の役割」というテーマで環境への取り組みについて発表しました。

今回の UNEP フォーラムは国連環境計画、国連環境計画日本協会（一般社団法人日本 UNEP 協会）、国連大学が主催しています。フォーラムの開会にあたり、後援の環境省・外務省より高橋地球環境審議官、鈴木地球規模課題審議官のご挨拶もありました。

国連環境計画からはアジア太平洋地域事務所長の活動報告、国連大学からは沖上級副学長の講演等があり、参加者はそれらのお話に熱心に聞入っていました。

当社の発表にも多くの関心が集まり、フォーラム終了後のレセプションでは、「電気炉による鉄リサイクルがあんなに大きな CO2 削減になるとは思わなかった。」「電気炉で乾電池がリサイクルできるとは知らなかった。」といったお声や質問が沢山寄せられました。

当社の他、イオン株式会社様、カルネコ株式会社様、カシオ計算機株式会社様からも発表がありました。今後も当社の環境への取り組みを皆様に知って頂くべく PR してまいります。

(ご参考)

・国連環境計画日本協会（一般社団法人日本 UNEP 協会） 「UNEP フォーラム 2019」

<https://j-unep.jp/events.html>



写真提供＝産通



写真提供＝EVI 推進協議会